

県立熊谷高校 <活性化・特色化方針（スクール・ポリシー）>

課程	定時制	学科	普通科	R7.5.1 生徒数	(男) 24 (女) 22	計 46			
アクセス	J R 高崎線熊谷駅(北口)より徒歩 2 5 分 または バス「円光」下車徒歩 4 分								
＜目指す学校像＞									
社会で「はたらく」生徒を育てる学校									
＜教育課程等＞※ 1									
「学びたい！」と思ったときに「学びどき！」あなたの学ぶ意欲に応える教育課程を提供します。 ・きめ細やかな指導であなたの基礎学力の定着を目指します。 → 学びの基礎診断、学習サポーターを活用して個々の状況に合わせた学びを提供します。 ・主体的、対話的で深い学びの場を提供します。 → I C T を有効活用するとともに、アクティブラーニングの手法を用いた授業を行います。 ・興味関心、多様な進路に対応するために科目が選択できます。 → 3 年生で家庭科（フードデザイン）と情報科（情報Ⅱ）のどちらかを選択できます。 ・教科横断的な視点で総合的な探究の講座を設置しています。 → 令和7年度の設置講座名「アート探究」「読書」「しらべ〜る」「さやまちゃ」									
＜本校が求める生徒＞※ 2									
・これまで勉強（学校）になじめなかったが、しっかり学び直し、高校を卒業したいという意志のある生徒									
＜学校行事＞									
・企業・学校合同説明会（企業や学校等を本校に招き、説明会を行います。） ・生徒会行事（生徒の希望を募り、生徒主体の球技大会等を行っています。） ・全定合同開催の文化祭（令和6年度はボードゲームを行い、大盛況でした。） ・校外遠足（令和6年度は東京ディズニーシーに行ってきました。） ・芸術鑑賞教室（様々なジャンルのミュージシャンを招き、生演奏を直接肌で感じています。）									
＜部活動＞									
・陸上競技部……目標を定め、大会で自己実現できるように練習に励んでいます。令和4年度・5年度に全国高等学校定時制通信制体育大会に出場しました。 ・卓球部……日頃の練習にしっかり取り組んでいます。県民総合体育大会に出場しました。 ・バドミントン部……男女仲良く日々楽しく活動しています。 ・美術部…… 各種行事のパンフレットの表紙をはじめとして資料作製を行っています。									
＜家庭・地域との連携＞									
・毎年、保護者の方を対象とした給食試食会や授業見学、給食感謝祭を実施しています。 ・卒業後の進路実現に向けて、今年度も企業・学校合同説明会を実施する予定です。 ・地域の大学と連携し、大学生による学習サポーター制度を導入しています。 ・スクールカウンセラーを配置しています。									
進路	R7.3 卒業生	四大	0人	短大	0人	専門	1人	就職	6人
	傾向	・卒業を見据えた指導…全学年対象の企業・学校合同説明会を行い、卒業後の人生設計を考えられるようにしています。 ・多様な進路実現 …… 少人数であることを生かし、個に応じた丁寧な進路指導を行っています。 ・個別指導の実施 …… 可能性を広げ社会で「はたらく・はたらきかける」人材の育成を目指しています。							

【学校教育法施行規則第103条の2】高等学校における三つの方針

裏面 育成を目指す資質・能力に関する方針（グラデュエーション・ポリシー）

※1 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）

※2 入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）

★4年間の頑張りがあなたの夢を叶える！ さあ、自分探しの旅へ出かけよう！

本校の特色

学ぶ意欲に応え、社会で生きる力を身に付ける指導を実践します

充実した学校生活を送り、母校となる熊定愛を高める指導を実践します

保護者や関係機関と連携し、個々の状況に応じた教育活動を実践します

事故防止や給食点検を行い、安心・安全な環境づくりを推進します

★本校ならではの「学びのチャンス」！ 一人ひとりのペースに合わせてフォローします

1 学年目標
基礎学力および学習習慣の定着



2 学年目標
自分と向き合い可能性を広げる



3 学年目標
生徒会活動や部活動等で
学校の中心的存在に成長



行事

文化祭や生徒会行事、
遠足など、さまざまな
行事があります



4 学年目標
社会人の一歩手前・希望進路を実現

4年間で…

目指す
生徒像

社会で「はたらく」生徒を育てる学校

教職員集団の取り組み

- わかる授業の実践
- 定期的な二者面談
- 面倒見のよい
「チーム熊定」



保護者・地域の期待

- ・在学中に、基礎学力を身に付け、基本的な生活習慣を送ってほしい。
- ・よりよい人間関係を築くためのコミュニケーション能力を身に付けてほしい。